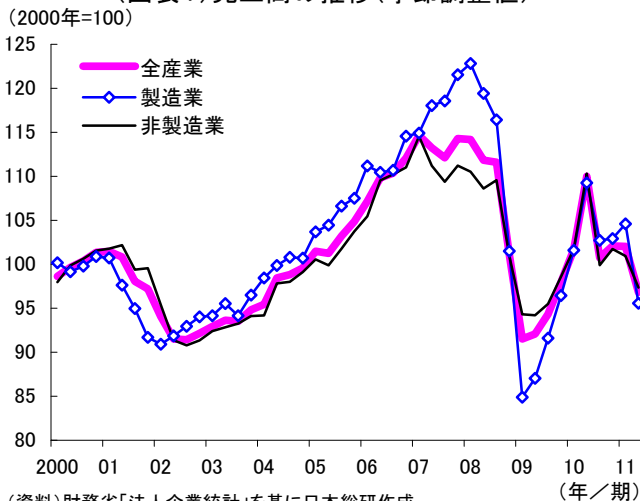


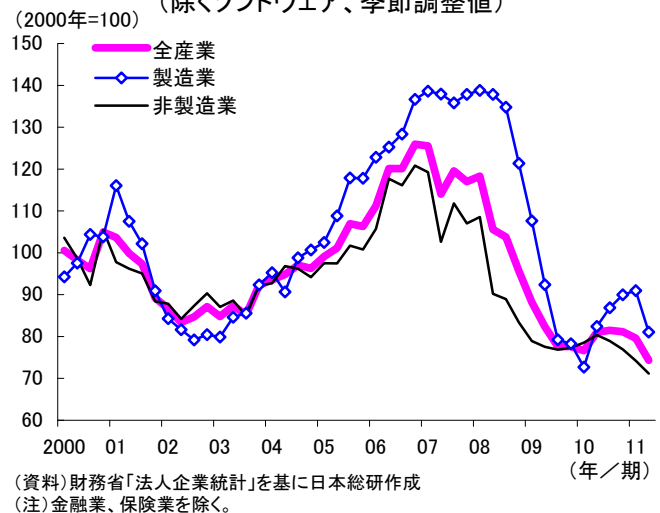
## 4～6月期法人企業統計の評価と2次QE予測

- (1) 2011年4～6月期の法人企業統計季報によると、売上高は2四半期連続の前期比減少で、減少幅は拡大(図表1)。前年比では輸送用機械器具製造業、不動産業、生活関連サービス・娯楽業など幅広い業種で売上が落ち込み、3月に発生した東日本大震災の影響が色濃く出た状況。
- (2) 設備投資(ソフトウェアを除く)も同様に減少幅が拡大(図表2)。被災した工場の復旧やインフラの復興に遅れがみられるなか、企業は設備投資に対して慎重姿勢。
- (3) 生産の回復に伴い在庫が積み増されたものの、売上が大きく落ち込んだため在庫率は上昇。とりわけ、自動車・同付属品製造業の在庫率は急上昇しており、今後の生産活動に影響が出る恐れも(図表3)。
- (4) 今般の法人企業統計等を織り込んで改定される4～6月期の実質GDP(2次QE)は、設備投資の下方修正を主因に、前期比年率▲1.5%と1次QE(同▲1.3%)から下方修正される見込み(図表4)。民間在庫および公共投資は上方修正される見込み。

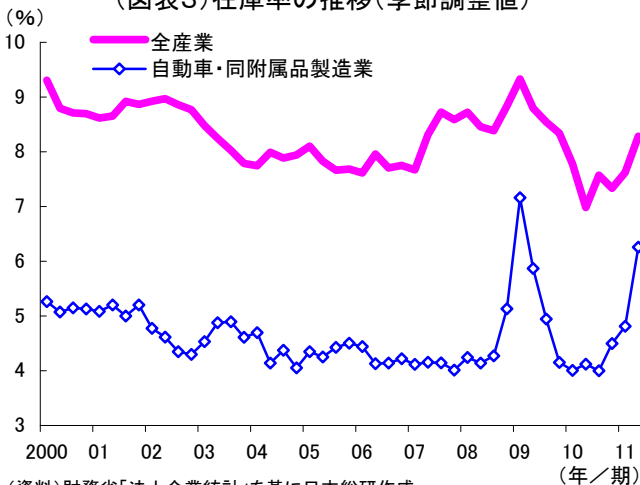
(図表1) 売上高の推移(季節調整値)



(図表2) 設備投資の推移(除くソフトウェア、季節調整値)



(図表3) 在庫率の推移(季節調整値)



(図表4) 2011年4～6月期GDP統計予測表

	1次QE		2次QE	
	前期比	前期比年率	前期比	前期比年率
実質GDP	▲0.3	▲1.3	▲0.4	▲1.5
内需 (寄与度)	( 0.4)	( 1.7)	( 0.4)	( 1.5)
民間 (寄与度)	( 0.2)	( 0.8)	( 0.1)	( 0.6)
個人消費	▲0.1	▲0.3	▲0.1	▲0.3
住宅投資	▲1.9	▲7.3	▲1.9	▲7.3
設備投資	0.2	0.9	▲0.7	▲2.7
民間在庫 (寄与度)	( 0.3)	( 1.1)	( 0.3)	( 1.3)
官公需 (寄与度)	( 0.2)	( 0.9)	( 0.2)	( 0.9)
政府消費	0.5	2.0	0.5	2.0
公共投資	3.0	12.5	3.3	13.8
公的在庫 (寄与度)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)
外需 (寄与度)	(▲0.8)	(▲3.0)	(▲0.8)	(▲3.0)
輸出	▲4.9	▲18.1	▲4.9	▲18.1
輸入	0.1	0.2	0.1	0.2
名目GDP <前年同期比>	▲3.2		▲3.1	
GDPデフレーター <前年同期比>	▲2.2		▲2.1	

(資料)内閣府などを基に日本総研作成  
(注)2011年9月2日時点の公表系列を基に作成。